

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 事業説明

SIMI 共同事務局

2020年3月23日

# 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）

---

## < 設立経緯 >

**社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（Social Impact Management Initiative: SIMI）**は、日本において社会的インパクト評価を推進するために、社会的インパクト評価の現状や課題、将来目指す姿やそれに向けた取り組みなどについて議論し、実行を主導するプラットフォームとして2016年6月に設立されました。

## < 構成とこれまでの取り組み >

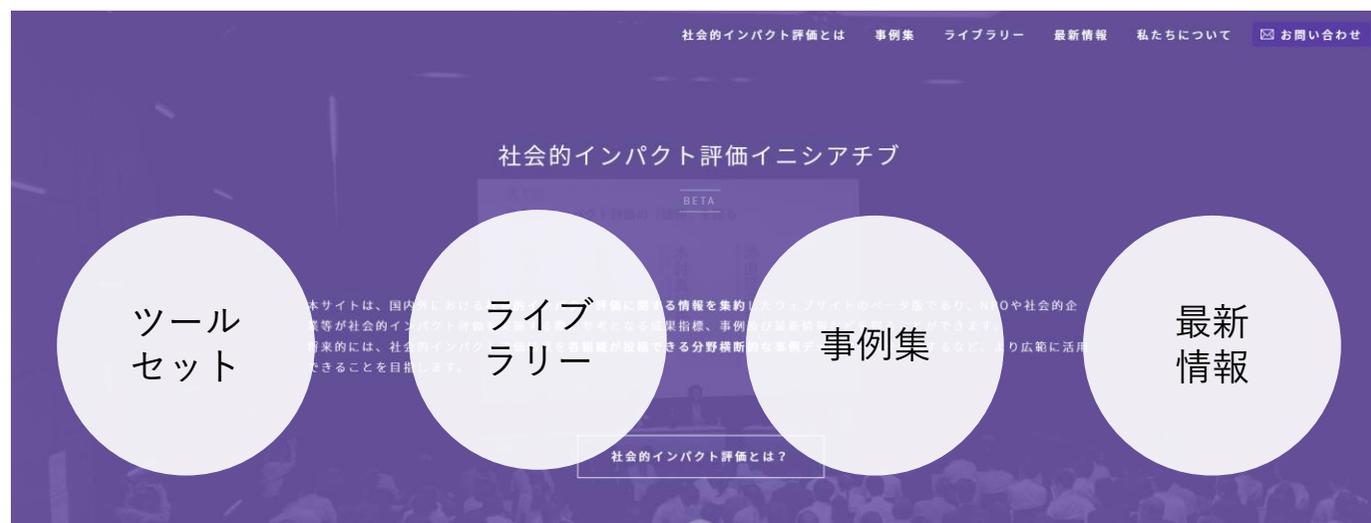
民間事業者、シンクタンク、中間支援組織、資金提供者、研究者、行政などさまざまな分野の人々が連携して日本全体として「社会的インパクト評価」を普及させるため、3つのテーマ（1. 文化醸成、2. インフラ整備、3. 事例の蓄積・活用）の**ロードマップ**を作成し、2017年度以降具体的なアクションを始動させました。2020年までに社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会課題の解決を促進させることを目指しています。その一環として、インパクト志向のあり方をさまざまなステークホルダーへ適用することを想定した「**社会的インパクト志向原則**」を策定しています。

# 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)

<社会的インパクト評価から社会的インパクト・マネジメントへ>

さらに、近年、社会的インパクト評価が先行している欧米では単にインパクトを評価するだけでなく、インパクト志向の事業運営を行う (Impact Management)、インパクトを最大化する (Impact Maximization) 方向に焦点がシフトしつつあります。

SIMIにおいても活動を展開していくなかで、大事なのは社会的インパクト評価そのものではなく、社会全体の社会的インパクト志向が強まること、そして**社会的インパクト・マネジメント**の実践が世に広まることだという気づきにいたりしました。その結果、SIMIでも「社会的インパクト志向」を前提に、社会的インパクト評価を事業運営プロセスに組み込んだ、社会的インパクト・マネジメントの推進を行っていくこととなりました。



# 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)

---

## < 運営委員 >

伊藤健 (特定非営利活動法人 Social Value Japan)

伊藤佐和 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

今田克司 (一般財団法人 CSO ネットワーク)

鴨崎貴泰 (特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会)

幸地正樹 (ケイスリー株式会社)

小柴優子 (一般財団法人 社会変革推進財団)

高木麻美 (EY 新日本有限責任監査法人)

松野文香 (公益財団法人 笹川平和財団)

山田泰久 (CANPAN プロジェクト)

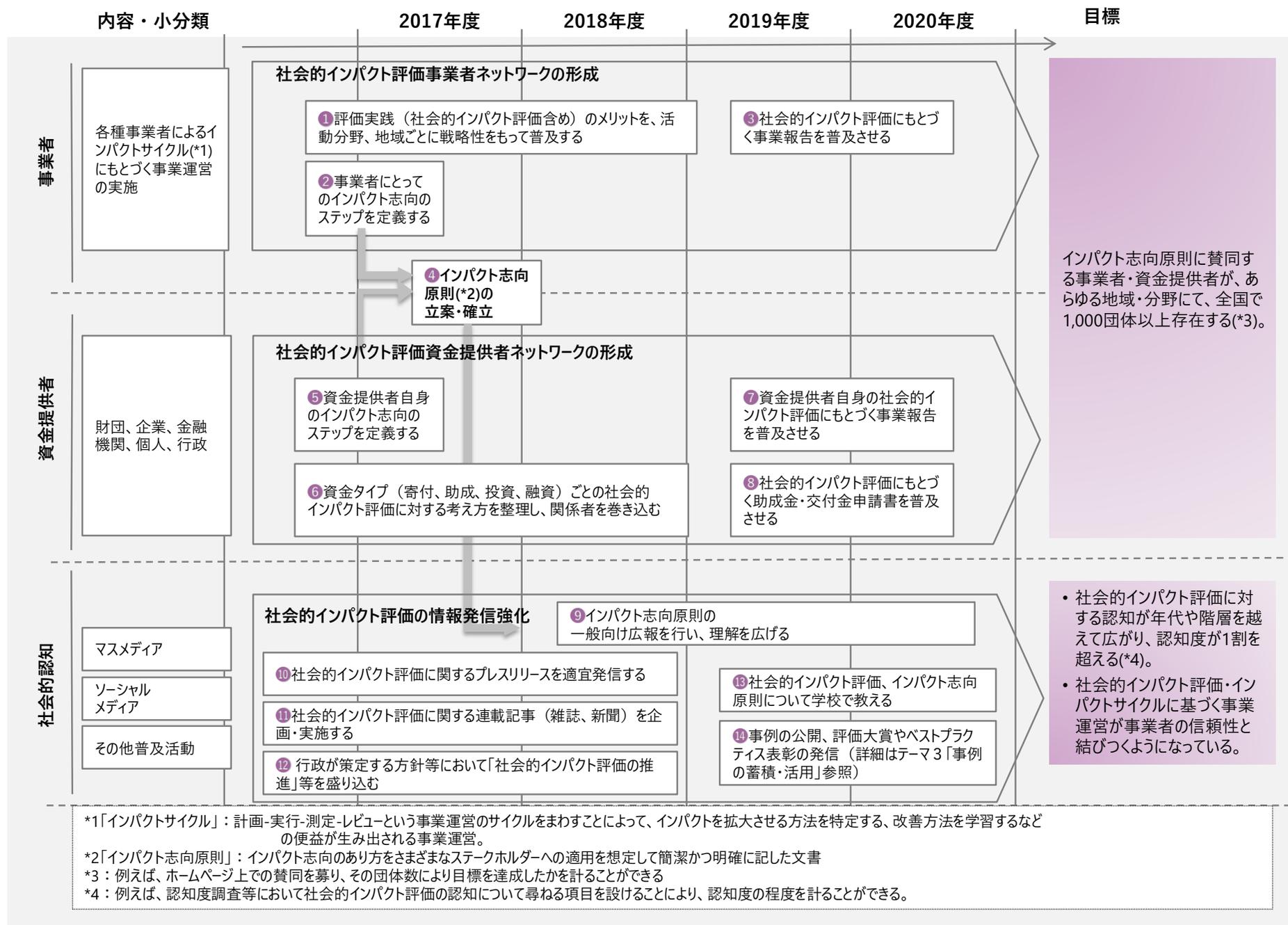
※2019年12月時点

## < 事務局 & ワーキンググループ >

事例蓄積・活用WG / 資金提供者WG / 企業ガイドラインWG / Beyond2020WG

運営事務局 (マネジメント / 普及・広報タスクフォース / メンバーシップTF)

# ロードマップ（2017年度作成）



# 社会的インパクト・マネジメント

## 定義

事業運営により得られた事業の社会的な効果や価値に関する情報にもとづいた事業改善や意思決定を行い、社会的インパクトの向上\*を志向するマネジメントのことです。

\*「社会的インパクトの向上」には、事業や取り組みによって質的・量的に正のインパクトを向上させること、負のインパクトを低減させることの両方が必要です。

## 目的

社会的インパクト・マネジメントの実践は、以下を目的にしています。

1. 事業者の学びによる事業改善の促進

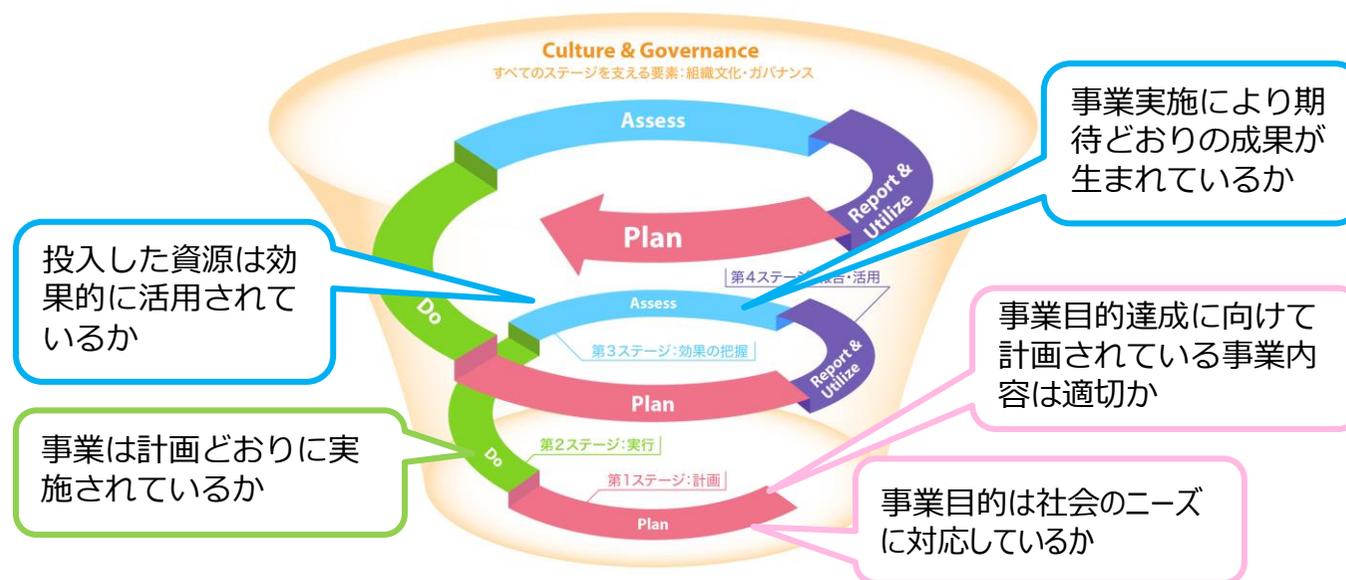
2. ステークホルダーの意思決定や事業改善のプロセスへの参加

3. 社会課題解決と社会価値創造、そのための知見の蓄積

# インパクト・マネジメント・サイクル

社会的インパクト・マネジメントは「インパクト・マネジメント・サイクル」を回し、そこに評価の諸作業を組み込むことで、実践が可能になると考えます。インパクト・マネジメント・サイクルは、事業を運営する際のマネジメント・サイクルの一種で、以下の4つのステージとそれを支える1つの要素から構成されます。

社会課題解決や社会価値創出を目的とする単一または複数の事業や取り組みが、社会全体や事業対象者のニーズに合致するよう設計・実施され、目的どおり社会的インパクトを生み出してゆくためには、事業の設計のロジックや実施プロセスの妥当性、成果などに関する例えば次のような問いに答えてゆくことが必要です。



© SIMI

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

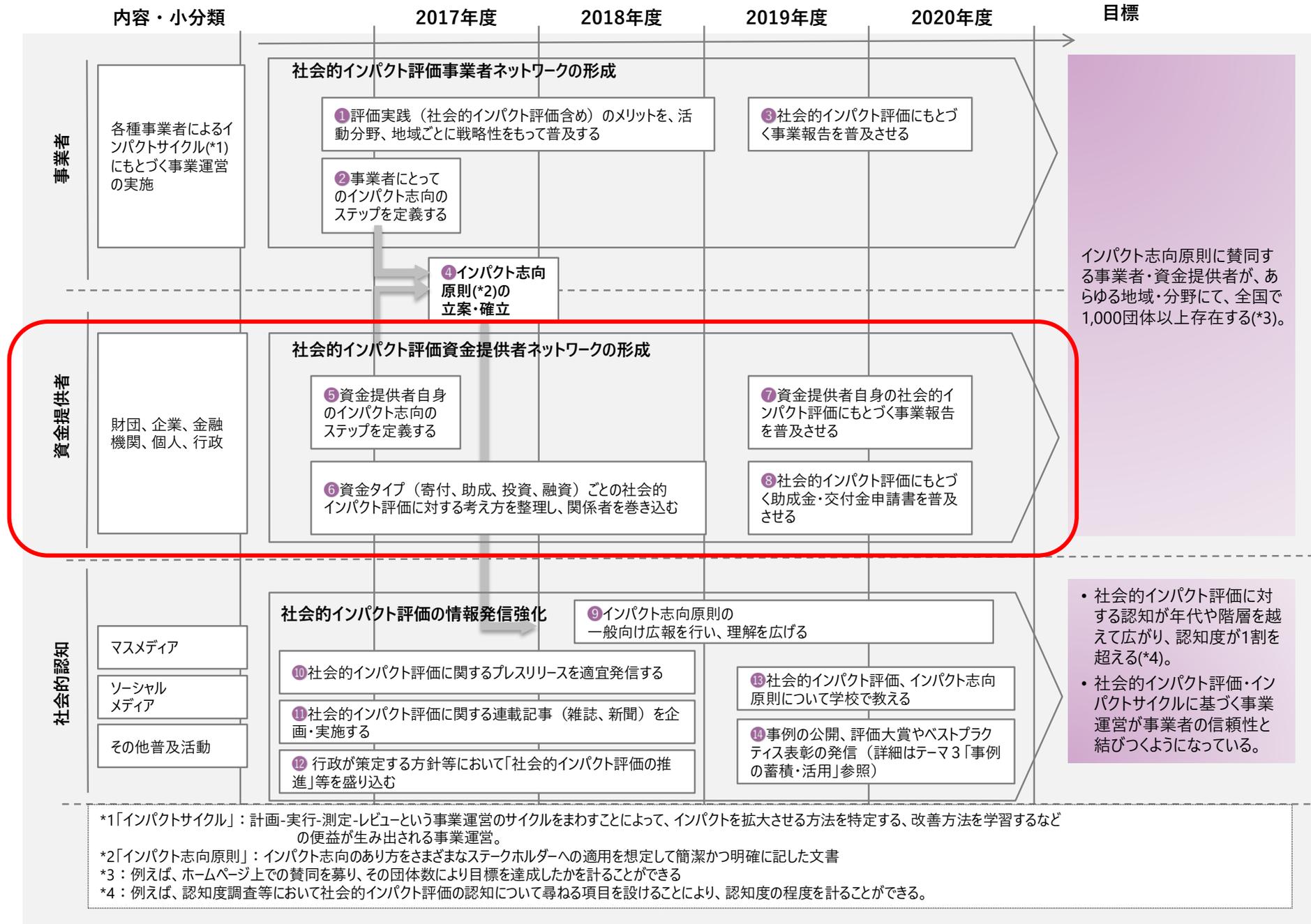
2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# 資金提供者WG

---

# 1. ロードマップ



# 振り返りと今後のイベント計画

## 振り返り

2019年9月26日 第一回 「資金提供者の社会的インパクト・マネジメント・セミナー」実施

### 【実施概要】

- ・日時：2019年9月26日（木）13:00～15:00
- ・場所：日本財団ビル2階会議室3
- ・主催：社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）
- ・共催：日本財団CANPANプロジェクト
- ・協力：一般財団法人 社会的投資財団（当時。現社会変革推進財団）

### 【内容】

- ・インパクト志向に基づく事業づくり、事業評価やマネジメントに興味関心を持っている金融機関や助成財団等の資金提供者様を対象に、インパクトマネジメントの考え方や活用についてセミナーを開催。
- ・事例として、新生企業投資のインパクト投資ファンド、JPモルガン助成プログラムの事例を紹介。
- ・20名参加し、資金提供者としてのインパクトマネジメントの重要性について活発なQ&Aが行われた。

## 今後のイベント計画

**\*新型コロナの影響で延期になりました**

2020年3月19日 第二回 「資金提供者の社会的インパクト・マネジメント・セミナー」

### 【実施概要】

- ・日時：2020年3月19日（木）14:00～16:00
- ・場所：日本財団ビル2階会議室4
- ・主催：社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）
- ・協力：一般財団法人社会変革推進財団

### 【内容】

- ・第一回目を踏襲
- ・事例として、キャピタルメディカ・ベンチャーズ（CMV）の医療系投資を例を紹介。
- ・CMV出資先の(株)ヒューマンアルバ（依存症患者の社会復帰支援）、Trim(株)（街中の授乳ボックス運営）の事例を紹介へ

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# 評価事業者WG

---

# 1. ロードマップ

## テーマ2 インフラ整備

テーマ小分類	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	目標	
<b>評価人材の育成</b> - 事業者(経営者・管理者・現場) - 資金提供者 - 中間支援組織(伴走者) - 評価専門家	<b>要件整理</b> 以下の事項を整理 - 育成したい人材像(必要な知識・スキル) - 社会的インパクト評価に関連する既存研修	<b>研修提案</b> -カリキュラム -教材開発 ↑ <b>教材開発のイプット</b>	<b>基礎研修について実施機関と情報交換・連携</b> 社会的インパクトマネジメントの理解・実践に有用な基礎的な知識、スキルに関する研修	<b>実践研修について実施機関と情報交換・連携</b> 社会的インパクトマネジメントを実践する上で必要な応用的な知識・スキルに関する研修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織が実施する基礎研修を全国で1,000名が修了し、100名が実践研修を修了している。</li> </ul>	
	<b>ガイドライン</b> ※原理原則 <b>具体的手引き</b> ※内部評価時に参照できるレベル <b>アウトカム・指標</b>	<b>要件整理</b> - 目的/評価の利用者 - 分野 - 規模 - 時間軸 <b>ガイドライン、具体的手引きの開発</b>	<b>実践を通じた検証・改訂</b> ※評価事例蓄積との連携	<b>分野毎に共通的なアウトカム・指標の整理</b> (※2018年6月時点で教育、就労支援、地域まちづくり等の8分野で作成済) 新規3分野作成	既存分野の改訂 ユーザビリティの向上等 新規4分野作成(予定) <b>ガイドライン・ツール情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト志向原則に同意した団体のうち80%でガイドライン・手引きが活用され、事業管理が改善している。</li> <li>NPO法の20分野(例)で共通的な指標が整理、活用されている。</li> </ul>
	<b>資金提供者による評価コスト支援</b>	<b>要件整理</b> - 評価に係るコストの整理 - 支援範囲の整理 - 支援方法の検討 ※基金は官民のマッチングファンドを想定	<b>資金提供者による評価実施費用の助成対象費用への繰入/団体内での自己評価体制構築への助成の実施</b> <b>詳細制度設計</b> ※事業者と評価支援者のマッチングの仕組み含む	<b>基金運用</b>	<b>人材情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト志向原則に同意した資金提供者のうち90%で評価コストの支援がある。</li> <li>評価支援基金が設立され支援が行われている。</li> </ul>
<b>リソースセンター(Webサイト)の整備</b> <b>支援体制の整備</b> ※実践者が支援者になる仕組みづくり	<b>コンテンツの継続的更新(事例、評価支援組織・人材、評価ツール、オープンデータ等)</b> (詳細はテーマ3「事例の蓄積・活用」参照) <b>運営体制確立</b> <b>評価実践者のピア・ネットワーク構築</b>	<b>ピア・ネットワーク内での評価支援の実施</b> ※リソースセンターにアップロードされた事例等へのオンラインでのコメント、レビューを想定。	<b>支援者情報</b>	<b>技術面</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リソースセンターに1,000件の評価事例がアップロードされている。</li> <li>ピアネットワークに1,000名が参加し、累積で5,000件のレビューが行われている。</li> </ul>	

### 目的

- 各事業者の活動や、社会的インパクト・マネジメントのエコシステムの発展に資する。
  - ① 社会的インパクト・マネジメントの質の向上
  - ② 社会的インパクト・マネジメント実践者の増加

### 対象

1. 社会的インパクト・マネジメントのコンテンツ・ホルダー
  - ① 社会的インパクト・マネジメント研修
  - ② 社会的インパクト・マネジメント支援・コンサルティング
2. 社会的インパクト・マネジメントを実践する事業者

### 目標

- SIM人材養成、スキル向上の為の実践研修の情報整理、公開
- 基礎研修の受講者数促進、質の担保のための施策を実行
- 今後の社会的インパクト・マネジメントのニーズが見込める団体との連携検討
- 海外の組織・事業者との連携、先進事例の情報収集

2019年度

活動内容

1. 研修のリストアップ及びウェブサイトでの公開
2. 関連書籍・論文のリストアップ及びウェブサイトでの公開
3. 事業者の情報集約及びウェブサイトでの公開
4. ロスター登録制度の実施
5. ネットワーキングにおける情報共有及び勉強会の開催

### 次回のネットワーキング・セミナー開催概要

- 開催時期：2020年4月（予定）
- 開催内容：社会的インパクト・マネジメント研修を提供する事業者による、各研修コンテンツの紹介・情報共有
- 参加対象：社会的インパクト・マネジメントを実践する非営利組織・企業等、研修コンテンツホルダー

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# 普及・広報TF

---

# 1. ロードマップ

## テーマ1 文化醸成



\*1「インパクトサイクル」:計画-実行-測定-レビューという事業運営のサイクルをまわすことによって、インパクトを拡大させる方法を特定する、改善方法を学習するなどの便益が生まれる事業運営。

\*2「社会的インパクト志向原則」:社会的インパクト志向で事業や活動を実施するための基本的なきまり

\*3:原則への署名団体数により目標を達成したかを計る

\*4:例えば、認知度調査等において社会的インパクト評価の認知について尋ねる項目を設けることにより、認知度の程度を計ることができる。

## <2019年度活動と実績>

1. イベント・講演など社会的インパクト評価の認知を促進する場の創出  
各セクターのニーズに基づいたセミナーの企画や、外部イベントの登壇、地方で開催されるセミナーへの講師派遣などを通じて、周知啓発を図る

### 【東京での開催】

社会的インパクト・マネジメント・セミナー

- ①第3回入門講座（NPO編） 2019年9月2日（月）夜 約80名
- ②第4回入門講座 2020年3月23日（月）夜

※2020年5月か6月にもう1回開催予定

### 【地域のセミナーへの講師派遣プログラム】

- ①愛知県名古屋市 2019年8月31日（土）午後 51名

主催：愛知県／NPO法人ボランティアネイバーズ

- ②長野県松本市 2019年9月30日（月）午後 38名

主催：公益財団法人長野県みらい基金

- ③宮城県仙台 2019年10月4日（金）午後 17名

主催：宮城県(みやぎ NPO プラザ)／認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる

- ④北海道旭川市 2019年10月4日（金）夜 25名

主催：北海道NPOサポートセンター

※2020年度も同様に実施予定

## <2019年度活動と実績>

---

### 2. 社会的インパクト評価を活用するメリットの可視化

他のWGと連携して、参考となる事例をコンテンツ化することで、可視化したメリットを、認知促進に役立つ伝わりやすいメッセージに落とし込む

⇒入門講座の開催報告をコンテンツとしてアップ

⇒現在、SIMIのパンフ（簡易版）を作成中

⇒今後は、各WGの成果物を活用して、コンテンツ化を目指す

### 3. マスメディアやソーシャルメディアを通じた発信

事業者・資金提供者（企業CSR等）の発信活動を支援することで、これから社会事業に取り組む層や、一般の人の認知を高める（同心円型認知）

⇒Webサイトをリニューアル予定

⇒アワード事業等を通じて、マスメディアへの発信を行う

### 4. 事例の公開、評価大賞やベストプラティス表彰を通じての認知向上

事例蓄積WGと協力しながら、イベントやコンテンツを通じて、広く情報提供を行うことで、認知してもらうきっかけづくりを行う

⇒アワード事業と連動して、企画を行う

## 2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# ガイドライン・ツール改編TF

旧アウトカム・指標WG、ガイドラインWG

# 1. ロードマップ

## テーマ2 インフラ整備



1. 開発済みツールセットのウェブ化に伴う改訂作業（次項以降参照）
  - ロジック・モデル、指標・測定方法の再確認
  - 尺度の信頼性・妥当性、使い方に関する情報の追加
  - 掲載している尺度等が無許可使用に抵触していないかの再確認
2. SIMIのウェブサイトの改修を絡めたユーザビリティ向上分野横断的な指標・測定方法の整理および検索機能（キーワード、分野、ステークホルダー）の開発（次項以降参照）
3. 社会的インパクト・マネジメントの視点を反映させた実践ガイド（仮名）の開発  
既存の実践マニュアルと社会的インパクト・マネジメント・ガイドラインVer.1を統合版のイメージ

# サイトマップ (仮)

お問い合わせ

メーリングリスト登録

Facebook

English

ホーム

NPO・事業者の方へ

資金提供者の方へ

企業の方へ

ガイダンス用

私たちについて

- 趣旨・目的
- 背景・沿革
- 運営グループ・事務局
- 運営メンバー・賛同メンバー
- ロードマップ・Beyond20
- Social Impact Day
- アワード

お知らせ

- お知らせ
- SIMIの活動（全体会合、WG、TF）
- SIMI主催のイベント・セミナー・研修
- SIMI後援のイベント・セミナー・研修

社会的インパクトについて

- 社会的インパクトとは
- 社会的インパクト・マネジメントとは
- 社会的インパクト評価とは
- 社会的インパクト投資とは
- ガイダンス文書（志向原則・フレームワーク・ガイドライン）

事例集・ライブラリー

- 国内事例
- 海外事例
- SIMIレポート
- 参考レポート

検索機能をつける

SIM実践ガイドとツール

- 実践ガイド（既存のマニュアルを更新）
- ロジックモデルの例示
- アウトカム・指標データベース、測定方法の例示（既存ツールセットのWeb化）

検索機能をつける

サポート

- 社会的インパクト・マネジメント・アドバイザー・評価事業者一覧
- 研修事業者一覧

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

# 【運営事務局：ウェブサイトリニューアル】

---

# ウェブサイトリニューアルに向けて

---

## ■背景

- 2016年6月に開設したウェブサイトをアップデート
- 「社会的インパクト評価」→「社会的インパクト・マネジメント」へ衣替えし、必要なコンテンツを追加

## ■コンセプト

- ① 閲覧者としてオールラウンド（全方位）を想定
- ② 特に、NPO・事業者の方が活用できる情報を掲載
- ③ 初めて「社会的インパクト・マネジメント」を知る方に役立つ

## ■プロジェクトの概要

- ディレクション：土岐、構築：外注
- 10月からプロジェクトを開始し、要件定義を終え、2月末現在構築中。
- リリース：4月中旬（予定）

## ■その他

- 併せてドメインを変更予定

# サイトマップ (仮)

お問い合わせ

メーリングリスト登録

Facebook

English

ホーム

NPO・事業者の方へ

資金提供者の方へ

企業の方へ

ガイダンス用

私たちについて

- 趣旨・目的
- 背景・沿革
- 運営グループ・事務局
- 運営メンバー・賛同メンバー
- ロードマップ・Beyond20
- Social Impact Day
- アワード

お知らせ

- お知らせ
- SIMIの活動（全体会合、WG、TF）
- SIMI主催のイベント・セミナー・研修
- SIMI後援のイベント・セミナー・研修

社会的インパクトについて

- 社会的インパクトとは
- 社会的インパクト・マネジメントとは
- 社会的インパクト評価とは
- 社会的インパクト投資とは
- ガイダンス文書（志向原則・フレームワーク・ガイドライン）

事例集・ライブラリー

- 国内事例
- 海外事例
- SIMIレポート
- 参考レポート

検索機能をつける

SIM実践ガイドとツール

- 実践ガイド（既存のマニュアルを更新）
- ロジックモデルの例示
- アウトカム・指標データベース、測定方法の例示（既存ツールセットのWeb化）

検索機能をつける

サポート

- 社会的インパクト・マネジメント・アドバイザー・評価事業者一覧
- 研修事業者一覧

**SIMI**

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価、マネジメントを広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

## 事例蓄積・活用WG

---

# 1. 事例蓄積・活用WGの2020年度目標

## 2020年目標

多様な社会的インパクト評価事例があらゆる地域で  
1000事例蓄積され、活用されている

### 1. 「多様な」とは？

各項目（目的、分野、地域、評価手法、評価の成熟度、組織形態、活用方法等）が幅広く網羅されていること

### 2. 「蓄積」とは？

事例の各項目等が整理されてデータベースに登録されていること

### 3. 「活用」とは？

蓄積された事例が評価プロセスの効率化、評価品質の向上、事業改善や効果的な取組の展開、また、その先にある社会的インパクトの拡大等に利用されている状態

## 2. ロードマップ（社会的インパクト評価事例の事例蓄積・活用）

社会的インパクト評価事例の蓄積・活用



本年度の主なフォーカス

### 3. 具体的な活動内容

実施事項	概要	今年度のゴール
ケーススタディ	社会的インパクト評価をマネジメントに活用している団体にヒアリングを実施し、きっかけや実施内容、良かったこと、課題等をSIMIのHPで公開	ケーススタディを10件程度、SIMIのHPで公開
アワード	第1回社会的インパクト・マネジメント・アワード（SIMA）の企画・運営	受賞者をSocial Impact Dayにて発表

アワードタスクフォース設置